



令和2年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年2月3日

上場会社名 株式会社 松屋フーズホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9887 URL <https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 丹沢 紀一郎

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 令和2年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第3四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	79,599	8.7	4,827	60.1	4,982	58.2	2,686	42.6
31年3月期第3四半期	73,208	5.2	3,016	12.3	3,148	11.2	1,883	7.0

(注) 包括利益 2年3月期第3四半期 2,681百万円 (43.1%) 31年3月期第3四半期 1,874百万円 (7.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	140.96	
31年3月期第3四半期	98.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第3四半期	70,191	43,032	61.3	2,258.17
31年3月期	65,026	40,808	62.8	2,141.46

(参考) 自己資本 2年3月期第3四半期 43,032百万円 31年3月期 40,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		12.00		12.00	24.00
2年3月期		12.00			
2年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,100	6.1	5,550	42.9	5,800	38.7	3,100	41.1	162.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 0 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期3Q	19,063,968 株	31年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	2年3月期3Q	7,724 株	31年3月期	7,691 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期3Q	19,056,270 株	31年3月期3Q	19,056,402 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に陰りが見られ、貿易摩擦懸念や原油高等の国際経済の不確実性により、景気の先行き不透明感が強まっております。

外食業界におきましては、食材価格や人件費の上昇、為替の変動等により経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、牛めし業態13店舗、とんかつ業態11店舗、鮪業態2店舗、その他業態5店舗(うち海外2店舗、うちFC1店舗)の合計31店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし業態店9店舗、とんかつ業態3店舗、その他業態3店舗の合計15店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第3四半期連結会計期間末の店舗数はFC店を含め、1,197店舗(うちFC7店舗、海外14店舗)となりました。この業態別内訳としては、牛めし業態962店舗、とんかつ業態196店舗、鮪業態10店舗、その他の業態29店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、108店舗の改装(全面改装6店舗、一部改装102店舗)を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、「ごろごろ煮込みチキンカレー」「和風タルタルチキン定食」「うまトマハンバーグシリーズ」「鶏のバター醤油炒め定食」「お肉たっぷり牛鍋膳」「厚切り豚テキ定食」「豆腐キムチチゲ」の期間限定メニューの復刻販売、新商品として「トマトフォンデュソースのビーフハンバーグステーキ定食」「創業ビーフカレー」「うな井」「味玉オリジナルカレー」「牛肉と筍のオイスター炒め定食」「ごろごろチキンのバターチキンカレー」「お肉どっさりグルメセット」「牛と味玉の豚角煮井」「豚焼肉と豚角煮のあいもり定食」「牛焼肉と茄子のにんにく味噌定食」「ビーフシチュー定食」を販売いたしました。また、創業祭として『カルビ増量キャンペーン』、2018年6月に開催いたしました『松屋復刻メニュー総選挙2018』のスピノフ企画である“Twitter松屋ボツメニュー裏総選挙”において1位となりました「焼き牛めし」の販売、「平成のロングセラー“豚”ビビン井」と「新作“牛”ビビン井」を『松屋ビビン井対決』として販売し、対決期間中販売数の多かった「“豚”ビビン井」の復刻販売等を実施いたしました。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店売上が前年同期比105.3%と前年を上回ったことに加え、前年度以降の新規出店等による売上増加分が寄与したこと等により、前年同期比8.7%増の795億99百万円となりました。

売上原価につきましては、食材価格の上昇や労務費の上昇等の上昇要因がある一方、売上高の上昇により、工場等の固定費の割合が低下し、原価率が前年同期と同水準の32.8%となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の63.1%から61.1%と改善いたしました。この要因は、売上高の上昇により、固定費の割合が低下したことによるものです。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト(売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト)の売上高比は、前年同期の67.0%から66.2%へと改善いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比60.1%増の48億27百万円、経常利益は前年同期比58.2%増の49億82百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比42.6%増の26億86百万円となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は701億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億64百万円増加いたしました。このうち、流動資産は201億16百万円となり、現金及び預金が18億86百万円増加したこと等によって、前連結会計年度末に比べ24億9百万円増加いたしました。また、固定資産は500億74百万円となり、新規出店や改装実施、工場生産設備などへの投資による有形固定資産の増加等によって、前連結会計年度末に比べ27億55百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は271億58百万円となり、長期借入金の返済、賞与の支払い等による減少要因がある一方、短期借入金増加等の要因により前連結会計年度末に比べ29億41百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は430億32百万円となり、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ22億23百万円増加となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の62.8%から61.3%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期の連結業績予想につきましては、令和元年10月31日に公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,491,916	11,378,893
受取手形及び売掛金	1,339,411	2,210,983
商品及び製品	605,097	600,432
原材料及び貯蔵品	3,773,015	4,105,843
その他	2,496,996	1,820,081
流動資産合計	17,706,436	20,116,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,083,079	17,584,787
機械装置及び運搬具(純額)	1,625,721	1,938,058
工具、器具及び備品(純額)	1,987,463	2,036,170
リース資産(純額)	1,302,926	921,506
土地	9,341,954	9,341,954
建設仮勘定	423,151	2,663,638
有形固定資産合計	31,764,296	34,486,115
無形固定資産		
ソフトウェア	167,461	186,385
その他	84,350	116,281
無形固定資産合計	251,811	302,667
投資その他の資産		
投資有価証券	71,642	72,979
敷金及び保証金	12,400,782	12,293,937
長期前払費用	431,523	433,033
店舗賃借仮勘定	109,358	149,685
繰延税金資産	1,546,043	1,347,546
投資不動産(純額)	200,536	195,034
その他	553,520	803,590
貸倒引当金	△9,761	△9,708
投資その他の資産合計	15,303,646	15,286,099
固定資産合計	47,319,755	50,074,882
資産合計	65,026,191	70,191,116

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,175,724	2,484,158
短期借入金	87,690	5,085,256
1年内返済予定の長期借入金	2,132,756	1,512,357
未払金	4,591,921	4,278,536
リース債務	634,324	486,015
未払法人税等	1,059,806	1,184,929
賞与引当金	927,418	501,992
役員賞与引当金	—	566
資産除去債務	—	895
その他	2,437,486	2,772,228
流動負債合計	14,047,127	18,306,936
固定負債		
長期借入金	7,174,912	6,090,157
役員退職慰労引当金	581,100	567,800
リース債務	772,752	509,951
資産除去債務	1,449,230	1,515,060
繰延税金負債	5,660	5,280
その他	187,152	163,769
固定負債合計	10,170,807	8,852,018
負債合計	24,217,935	27,158,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	27,271,571	29,500,297
自己株式	△16,321	△16,461
株主資本合計	40,874,327	43,102,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	1,516
為替換算調整勘定	△66,659	△72,266
その他の包括利益累計額合計	△66,071	△70,750
純資産合計	40,808,255	43,032,162
負債純資産合計	65,026,191	70,191,116

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成31年4月1日 至令和元年12月31日）
売上高	73,208,529	79,599,343
売上原価	24,044,516	26,108,785
売上総利益	49,164,012	53,490,557
販売費及び一般管理費	46,147,918	48,662,772
営業利益	3,016,094	4,827,784
営業外収益		
受取利息	16,646	15,971
受取配当金	1,587	1,587
受取賃貸料	189,713	168,278
その他	148,588	194,942
営業外収益合計	356,535	380,778
営業外費用		
支払利息	31,731	38,558
賃貸費用	165,702	165,440
その他	26,759	22,537
営業外費用合計	224,193	226,536
経常利益	3,148,435	4,982,027
特別利益		
固定資産売却益	22	723
受取補償金	25,000	—
収用補償金	29,072	105,236
その他	1,486	4,477
特別利益合計	55,580	110,437
特別損失		
固定資産除却損	13,456	9,502
店舗閉鎖損失	932	2,574
固定資産売却損	2,030	1,460
減損損失	155,895	239,857
和解金	50	—
その他	714	—
特別損失合計	173,079	253,395
税金等調整前四半期純利益	3,030,936	4,839,069
法人税、住民税及び事業税	1,028,251	1,955,285
法人税等調整額	119,473	197,707
法人税等合計	1,147,725	2,152,992
四半期純利益	1,883,211	2,686,077
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,883,211	2,686,077

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
四半期純利益	1,883,211	2,686,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△270	927
為替換算調整勘定	△8,823	△5,607
その他の包括利益合計	△9,094	△4,679
四半期包括利益	1,874,117	2,681,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,874,117	2,681,397
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和元年6月25日開催の定時株主総会及び令和元年10月31日開催の取締役会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第1四半期会計期間において、利益剰余金が228,675千円減少し、当第3四半期会計期間において利益剰余金が228,675千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
令和元年6月25日 定時株主総会	普通株式	228,675	12	平成31年3月31日	令和元年6月26日	利益剰余金
令和元年10月31日 取締役会	普通株式	228,675	12	令和元年9月30日	令和元年12月10日	利益剰余金

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。